

令和5年第7回定例会議

教育委員会会議録

令和5年9月25日

羽島郡二町教育委員会

令和5年第7回羽島郡二町教育委員会定例会会議録

※当議事録では、個人情報に関する記述の省略・不適切な表記の訂正などを行っている部分があります。

○日 時 令和5年9月25日（月）午前8時45分から午前11時55分まで

○場 所 岐南町立西小学校 北舎2階 会議室

○会期の決定について

<日程第1> 前回の会議録の承認について

<日程第2> 教育長の報告

○議 題

<日程第3> 議案第19号 笠松町体育施設条例施行規則の一部を改正する規則について

<日程第4> 羽島郡二町教育委員会が管理する笠松町公共施設の共通使用手続に関する条例施行規則について

<日程第5> 羽島郡二町教育委員会規則における申請書等の押印及び敬称の取扱いの特例に関する規則について

<日程第6> 笠松町公民館運営規則（廃止）について

<日程第7> 笠松町体育施設管理委任規則の一部を改正する規則について

<日程第8> 笠松町立小中学校体育施設開放に関する規則の一部を改正する規則について

<日程第9> 笠松町の樹木の保存に関する要綱の一部を改正する要綱について

<日程第10> 令和5年度羽島郡二町教育委員会 教育方針「方針と重点」（前期中間評価）について

<日程第11> 令和6年度使用小・中学校用教科用図書の岐阜地区採択について

○協 議 題

<日程第12> (1) 令和5年度第52回羽島郡二町教育委員会被表彰者について

(2) 小学校教育功労者表彰について

(3) 羽島郡人権教育研修会について

(4) 夏休みこども教室（岐南町）・夏の親子教室（笠松町）について

(5) 郡地域学校協働活動研修会について

(6) キッズウィークの運用について

(7) 次回（第8回）教育委員会定例会の開催について

(8) 令和5年第1回羽島郡二町教育委員会運営協議会について
委員会運営協議会の開催について

(9) その他

・「教育委員徒然日記」の依頼について

- ・次々回（第9回）教育委員会定例会 および 教育委員会表彰式の日程について

○出席者

教育長	野原弘康
教育委員（教育長職務代理者）	久納万里子
教育委員	岩井弘榮
教育委員	西雅代
教育委員	羽田野正史

○説明のために出席した者

総務課長	坂井政俊
学校教育課長	宮川浩司
社会教育課長	藤枝豊和

1 本日の書記

総務課長	坂井政俊
------	------

	(午前8時45分 開会)
教育長	<p><開会></p> <p>只今より、令和5年第7回羽島郡二町教育委員会定例会を始めさせていただきます。</p>
教育長	<p><会期の決定について></p> <p>初めに会期の決定についてお諮りします。議事日程により、会期については、本日1日とすることとしてよろしいでしょうか。</p>
教育長	<p>【異議なし】</p>
教育長	<p>ありがとうございます。異議なしと認め、会期は1日とさせていただきます。</p>
教育長	<p><日程第1></p> <p>では、日程第1「前回の会議録」について、総務課長より報告をさせていただきます。</p>
総務課長	<p>前回の会議録の承認についてご報告いたします。資料2頁をご覧ください。</p>

令和5年第6回羽島郡二町教育委員会定例会議は、令和5年7月24日（月）午前8時50分から 岐南町役場 2階 会議室2-1で開催されました。

その会議の概要をご報告します。本日配付させていただきました資料の2ページをご覧ください。

今回は令和5年第6回羽島郡二町教育委員会の定例会を、令和5年7月24日月曜日の午前8時50分から岐南町役場2階の会議室2-1で開催させていただきました。

議案第18号 令和6年度主要の小中学校教科用図書の採択について

学校教育課長が、令和6年度小・中学校主要予定の教科書について説明をさせていただきました、承認を受けました。

中学校につきましては、全教科とも特別な事情がない限り、今年度と同様の教科書を選定させていただいております。

小学校につきましては、国語は光村図書、書写は光村図書、社会は東京書籍、地図は帝国書院、算数は東京書籍、理科は東京書籍、生活科は東京書籍、音楽は教育芸術社、図画工作は日本文教出版、家庭科は開隆堂、保健は東京書籍、外国語は開隆堂、道徳は光村図書に決定させていただきました。

その後、社会教育課長が一つ目の協議題、羽島郡地域学校協働活動研修会について、8月30日水曜日14時から多治見市の多治見市立根本小学校の横山美智子校長を講師に迎え、これからの学校運営の柱となる学校運営協議会のあり方について講義が開催されることを説明いたしました。

二つ目に、社会教育課長が岐南町の「夏休み子供教室」・笠松町の「夏の親子教室」について、子供たち自身が体験することを重視し、子供たちが興味をもてるようなものづくり、環境、調理など幅広い教室が準備されていることを説明させていただきました。

三つ目に、総務課長が教員採用選考2次試験の参加について、今年度は各務原市立那加中学校と、岐阜県立各務原西高等学校の2ヶ所を予定していることを説明し、久納委員さんと教育長さんの出席を確認させていただきました。

四つ目に、総務課長が市町村教育委員会連合会研究総会の開催について、11月の10日金曜日、10時から午後3時まで可見市文化創造センターで開催されることを説明し、現時点での全員参加の確認をしました。

五つ目に、次回の教育委員会定例会の開催について、令和5年9月25日月曜日午前中に岐南町立西小学校で開催することを確認させていただきました。

六つ目に、次々回の第8回の教育委員会定例会および第1回羽島郡二町教育委員会運営協議会について、総務課長がスケジュールの説明を行い、令和5年10月2

<p>教育長</p>	<p>3日月曜日に、午前中に教育委員会の定例会、午後に第1回羽島郡二町教育委員会運営協議会を笠松町役場で開催させていただくことを確認しました。</p> <p>以上が令和5年第6回教育委員会定例会議の報告となります。よろしくお願いいたします。</p> <p>前回の会議録についてよろしかったでしょうか。ありがとうございます。続きまして、私の報告をさせていただきます。</p> <p>資料1をご覧ください。</p> <p>今回の学力学習状況調査の結果です。今年から部活動の地域移行という中で、笠松中学校の女子バレーボール部が東海大会優勝し、全国大会に出場したという報告があり、子供たちにとっては非常によい経験ができたと思っております。</p> <p>また学校を離れますが、下羽栗小学校や松枝小学校の盆踊り大会、8月5日には、あいあい野球大会など各地域の行事がそれぞれスタートしつつあるかなということを考えています。</p> <p>ただ、来年の夏休みに向けて、児童が学ぶべきと思うことがありました。大きく4点です。</p> <p>一つはラジオ体操の行き帰りの安全対策についてです。また、岐阜県の中で水難事故が非常に多発したことも考えていかなければならないと思いました。</p> <p>連続した猛暑日に伴う熱中症についての対策が必要であると考えております。帰宅途中で体調不良になったこともありました。</p> <p>あとは、異常気象による急激な天候の変化・ゲリラ豪雨についてです。</p> <p>こういったことへの対策を準備し、来年の夏休みを迎えるにあたり、きちんと指導をすべきことだと思っております。</p> <p>そしてもう一つ水泳の授業。命を守るという視点での水泳の授業に対応していかなければならないということです。ライフジャケットなども活用して対応していかなければならないと考えております。そうしたこと一つ一つを体験をできるような時間にしていかなければならないと思っております。</p> <p>川へは1人で行ってはいけないということもあるし、遊泳禁止の場所では約束を守らなければいけないのですが、ただ、危険だから川に行くなということは違うと思います。自然は自然のすばらしさがあります。隣り合わせかもしれませんが、きちんと理解をした上でそういった体験をさせていきたいと思っております。</p> <p>交通事故防止ということであれば、未然防止のため地域へのアナウンスも大切なことであると思っております。この夏休みの教訓から、来年度夏季を迎える前に、そんな指導をしたいと思っております。</p>
------------	--

夏休み明けの教育活動ですが、全体的には円滑なスタートを切れたことは、ありがたいと思っております。

新型コロナウイルスが流行しております。身近なところにも罹った方がいらっしゃいますが、現在まで学級閉鎖はありません。ただ、インフルエンザの学級閉鎖がありました。

それから各学校の計画に基づいた教育活動、松枝小では木曾川下り、北小ではけやき祭りが行われました。

運動会が明日、笠松中学校、明後日が東小学校で行われます。土曜日には、くり勉スペシャルが計画されています。

続いて学力学習状況調査について、まず結果だけお示しをしました。

教科の正答率であるとか、或いは子供たちの質問の回答であるとか、或いは学校の質問書であるとか、そうしたものを総合して見ていかなければならないと考えております。

また、詳しくは10月の運営協議会でお話をしたいと考えております。今思っていることは、学校別で見ると全然違うということです。

そして経年変化を見ていくと、郡内全体としては、県平均を少し超えるという成績になっております。岐阜県全体にも言えますが、算数、小学校の算数の授業は、課題をもって臨まねばならないと思います。

中学校はよい結果が出ていますが、子供たちの正答率が低かった問題や今回無回答であった問題にも着目をし、その指導のあり方を見直したいと思っております。

顕著なものとしては、ICTの活用です。まだ子供たちのツールになっていないなど痛切に思っています。それを受けて、案ということで、先日、新規事業の説明をして参りました。

GIGAスクール構想の推進のためのICT支援事業についてです。ICT支援員を採用して、各学校回っていただく。特に授業に特化した、或いは学校のDXとしてです。業者の方とは違った側面をもつものです。

また、命を守ることを目的とした「水の安全教育」特にインストラクターに来ていただきながら、泳げない子を泳げるようにするという事です。日程の調整がなかなか難しく、子供が休みのときはインストラクターも忙しいということがあります。そうすると、子供が学校にいる時に来ていただくのが、よいのかと考えております。

三つ目はICT支援事業ということで、プログラミング学習の推進ということで、プログラマーが将来予測するっていうことであるとか、或いはドローンという、

	<p>活用の幅が今後どんどん広がっていくツールの利用のきっかけにできたらということで、このような三つの案を新規事業として出させていただいております。</p> <p>以上、何かご質問等ございませんか。</p> <p><再開></p> <p>先ほどの話の中で、地域との繋がりやすさというものがあつたのですが、新しい動きとして、それぞれ主体的に動くところが増えてきたと感じております。具体的には、東小学校です。すぐ一で案内が届いているかとは思いますが、つなぐ教室というものです。</p> <p>これは何かというと、学校を早く帰れる日に、地域の方、或いはPTAも含めてボランティアの方が集まって、子供たちと一緒に活動する。今回は、防災対策を兼ね、新聞紙でスリッパを作ることをしたそうです。そういうようなことを行い、約束まで決め、保険にも入るといった、主体的な動きが出てきています。要は、今まで児童クラブが担っていた体制から、全部はできないけれども、そうしたボランティアの方が時々集まっていただいて、コミュニケーションを図りながら学んでいける、そうした動きができつつあるなということを実感しています。堀内校長先生が社会教育課長であった時にこういうことができるといいなんて話していたことをやってくれているので、これがモデルになるとよいと思っております。</p> <p>もし時間があれば、地域の方の力をそんな形で、生かしていけたらよいと考えております。</p> <p>ご紹介までということで話をさせていただきました。ありがとうございました。会議の方に入ります。日程第3から日程第9まで、総務課長より説明をお願いします。</p>
<p>総務課長</p>	<p>総務課長の坂井です。</p> <p>日程第3・議案第19号から日程第9・議案第25号までの案件について、説明をさせていただきます。</p> <p>この7案件につきましては、笠松町議会で、令和5年3月16日に笠松町交流センターの設置及び管理に関する条例というものが制定されました。その制定に伴いまして、二町教育委員会関係の規則等の改正をしたいというものでございます。</p> <p>改正について、現在社会教育や生涯学習活動の拠点として機能を有する公民館というものがありますが、その公民館の機能を継承した上で、新たに地域活性化・まちづくり拠点としての機能を有し、より発展的な施設となるよう条例を制定するというもので、笠松中央公民館という名称が、笠松中央交流センター、また松枝公民</p>

	<p>館という名称が松枝交流センターに令和5年10月1日から呼称が変わるというものでございます。</p> <p>また、関連規則といたしまして、公民館等の管理の樹木について、議題第25号で「笠松町の樹木の保存に関する要綱の一部を改正する要綱」といたしまして、載せさせていただいているものでございます。</p> <p>また、体育館管理の羽栗施設というものがございしますが、岐南町への売却に伴い、体育館管理の施設が12施設から、10施設に減ったというものでございます。こちらについても令和5年10月1日から施行されるものでございます。</p> <p>簡単ではございますけれども、以上が議案第19号から議案第25号についての詳細になります。ご確認のほどよろしくお願いたします。</p>
教育長	<p>改正ということで、施設名で公民館が交流センター、そして、施設長で館長が交流センター長ということ、樹木については、10ページにあるように、イチョウが一つ追加ということですね。羽栗グラウンドの関係で、羽栗社会教育施設、テニスコートがなくなるということです。</p> <p>この交流センターについては、公民館の社会教育の機能は絶対になくしてもらっては困りますし、その上で、町民の方々が使いやすいということを考えたまちづくりの一つの提案だったということです。</p>
教育長	<p>では続いて日程第10・議案第26号について</p>
学校教育課長	<p>二町教育委員会「方針と重点」の評価ということで、目標1から4までありますが、1・2・4が私の方で、3が藤枝課長から説明させていただきます。</p> <p>まず、今年度の「方針と重点」をもとにしていただきながら、学校の方で評価をしていくということで、最初に出した方針と重点について、学校の方に示してきました。</p> <p>今年度は特に子供や保護者にも分かるように、指導評価内容については、学級で掲示する形をとらせていただきました。</p> <p>前期（中間）評価については、7月20日の時点で、学校から児童生徒評価と教師評価を回収させていただき、4段階評価ABCDで確認すること、また経年評価の視点で分析を載せました。</p> <p>目標1。</p> <p>「夢と自信をもち、可能性に挑戦するために必要な力の育成」ということで、1から5までありますが、我々の方の分析を見ながら説明をさせていただきます。</p>

授業で何を学ぶのかというところについては、授業マニフェストというものを7年ほど行っております。授業サイクルの徹底が図られているということで、今日も授業を見ていただきましたが、だんだん学年が進むにつれてそういったものが身についてきているということ、子供たちも、教師も実感しているので、すべてそのような評価が出ていると思います。

二つ目のウのところですが、小中学生ともに家庭学習を課題と考えている。けれども、子供たちはあまり切実感をもっていないということで、これは教育長の方から出ています。或いは学習状況調査の方にも関わってきますが、先生たちはもっと、家庭学習をきちんとやりたいということに対し、子供たちはもう十分にやっているというような結果が出ており、今までと同じような宿題の出し方なのか、それとも少し変えていくのか、学校教育課でも議論していきたい。こういうものこそ、ICTを使って、即時評価したり、自分がやればみんなの宿題がどこまで進んでいるのか見える。ということで、ぜひ新規事業のICT推進をやっていきたくて考えています。

授業づくりのところについては、中学生でもっと学びの深まりを実感したいという願いをもっている児童が増えてきているのではないかと思います。

ただ、先生たちも子供たちの学びを深める授業をしてあげたいと考えてると思いますが、子供たちはさらにということで、静かに落ち着いてやるだけではなく、もっと子供たちが、議論したり、仲間の意見をもとに、深めあえる授業ができるように、配慮していきたい。

4番目、家庭との連携については、昨年度よりも向上しているのではないかと、生徒たちは考え、感じています。

5番目の英語については、授業に対する満足感が教員生徒ともに上昇しているということで、やはり英語の場合、授業でコミュニケーションができるようになってきたということ。岐南町についてはGTECを実施していますので、より進めていくこと。あとは具体的にどうしていくのか、オールイングリッシュ授業が本当にいいのかというのは、ちょうど新聞等でも出てきてますので、来年度に向けて考えていきたいと思います。

6番の特別な配慮が必要な児童生徒に対しては、指導方法の工夫が、図られるようにしています。先生たちの思いとしては、コロナ中はなかなかできなかったこともやってあげたりしていますし、何とか人がいない中でもいろいろな先生が配慮しながらやってきました。今回学校を参観させていただき気づいたのは、今ここが勝負所だということで、二村先生が児童に寄り添って、粘り強くやっていただいていたと思います。

<p>社会教育課長</p>	<p>目標2の方に入ります。</p> <p>1 教員は児童生徒のよさを価値付けることへの意識が高くなってきているということで、西小は代々よさ見つけを行っていますし、他の学校でも、そういった子供たち同士で埋めきれないところは先生が間に入っていることがあります。</p> <p>2 番のところです。コロナ後となり、中学教員のリーダー指導、集団指導への熱意が向上している。ということで、先生たちはよい学級を作るために集団ということで、指導に熱がおびてきてるんじゃないかと思います。笠松中学校では、今ちょうど体育大会です。やりたいことやらせてあげたいことはたくさんありますが、何に重点を置くかということや、ここはやはり外してはいけないということで、健康面については十分配慮しながらも、リーダー指導や集団指導等で、指導力を向上してほしいと考えております。</p> <p>3 番です。柱になる活動は各校ともに位置付いている。ということで、コロナ後の活動に工夫が必要な時期になってきているということで、コロナ後になってきているようなことができるようになってきたのですが、何でもできるというふうにしてしまうのか。どれぐらいまでが今、適正なのかということを考えながら、満足感が得られるようにしていかなければならないと思います。</p> <p>4 番目です。中学校の先生たちは、生徒に寄り添いながら価値付けていると思っておりますが、生徒の評価への反映がやや弱い。ということで、先生たちと子どもたちの距離感がつめられるような声かけ・働きかけを期待しています。</p> <p>5 番目は、いじめの未然防止や早期対応に対してです。中学校教員の組織的な対応への意識が高まっています。学校でいじめについての案件は必ず起こっています。ただ、それに対しての組織的な対応であったりとか、早く、まずは話を聞いて、その事実をきちんと保護者に伝えるといったことが、行われていました。さらに、その事実をどういうふうに解決していくかが大切です。落としどころをさぐるのは難しいですが、子供たちは未来志向で非常に前向きに変わっていきこうと思っていますので、それに寄り添い、まずは子供に聞くというスタンスでやっていただくようにしております。</p> <p>3 番は、藤枝課長、お願いします。</p> <p>「生涯学び活かし活躍できるようなスポーツ文化など学びの環境の整備」について、この評価を見ますと、他の項目に比べて厳しい評価となっておりますが、その一つの要因として、過去3年間コロナ禍でほとんど地域の活動がストップしていた影響があると考えられます。ようやく再開していますが、子供たちもこの数年の経験不足からか、手探り状態のように感じます。ただ小学生については、地域への参加</p>
---------------	--

<p>学校教育課長</p>	<p>が増えてきたと感じております。実際には、この秋も地域の活動が戻ってきていますし、そこに関わる子供たちや、ボランティアに関わる中学生が増えることも期待できるのではないかと考えております。</p> <p>それから6番目「豊かな心を育む教育の推進」について、今日的な人権課題に基づいた人権教育の推進は、教員が気を配っていることが数値に表れています。児童生徒の意識が若干下がっていることがありますので、見守っていく必要があると考えております。</p> <p>目標3については以上です。</p> <p>目標4の「学びや育ちを支え、誰もが社会の担い手となるセーフティネットの構築」です。学校生活管理指導票の作成と活用がありますが、非常に高い水準で作成されています。これについては100%を目指していきたいと考えております。まず、子供たちの安全や、管理票等について、避難訓練・防災訓練・命を守る訓練等についてですが、児童生徒とともに良い結果を示しています。</p> <p>ただ、避難訓練について、年3回の実施を県から指導が入ってきておりますが、今やらないといけないことは、地震や火事とともに、本当に水が一番怖いと考えております。不審者対応もやらないといけないので、どういうふうに、どの順番でやっていくかということも学校には指導していきたいと思えます。学んだこととして、先日の大雨のとき、北小の子が帰る方法に困って、お店のところで、お店の人に助けを求めて、上手に連絡を取ってそこで待っていて、迎えにきてもらうということがありました。困ったときにどうすればよいか、人にうまく頼れるか、そういったことも普段から指導していきたいと思えます。</p> <p>自転車の安全安心については、課題である思っています。アイコンタクトを取って、きちんと自分で、相手が来るか来ないか判断したり、ある程度ルールは守っているのだけれど、ちょっと前車との距離が近づきすぎて自転車同士が接触してしまったりといった小さい事故は、よく起こっております。ヘルメットのかぶり方などについても子供たちによって違う。命については、やり過ぎても、やり過ぎることではないと思えますので持続して行っていきます。</p> <p>安全点検についてです。学校での安全管理についても、児童生徒は非常に安全な場所だというふうに思っている。それに対して先生たちがちょっとまだ心配だっていう、例えば物の固定であったりとか、つい最近の話題であれば、運動場の釘はあるのではないかと。岐南中学校は、新聞の記事があった後、すぐに全部の点検確認を行ってくれました。</p> <p>ICTについてです。デジタル端末の活用については児童生徒とともに積極的に</p>
---------------	--

	<p>行われていたと感じております。しかし、県や全国平均と比べて、その頻度の部分で課題となっています。今日もタブレットが置いてあって、使っているのわかりますが、よい使い方ができるかどうかだと思います。そういった部分の、より良いアイデアを来年度以降、集めていけるようなICT推進というのを行いたいと考えております。</p>
教育長	<p>このことにつきまして、何かありましたらどうぞ。</p>
学校教育課長	<p>子供たちには、ボランティアに行きたいという思いはあるのだと思います。</p>
教育長	<p>子供たちの力、子供たちを楽しませようとかね、なんかいろいろそういった地域の方が働きかけていただいていることに対してありがたいと思う。例えば松枝小の盆踊りも、結構中学生も参加していました。</p>
社会教育課長	<p>意識の二極化が考えられます。ボランティアに取り組む子は、それが喜びになったりしています。親の意識も、子供会やPTAに入らないという声も増えています。自治会の活動にも関わろうとしない。地域の繋がりが希薄になっていることには、危機感を感じている人たちが多く、学校運営協議会の中でも何とかしていきたいという、話題になっています。</p>
久納委員	<p>地域の中から、ボランティアをしたという声は全然聞かなくなった。学校の中でボランティア活動があれば、それをしていけばいいといった考えがあるようだ。</p> <p>ボランティアとは関係ないが、中学校で職場体験があると聞きました。</p> <p>ICTについて言えば、教員・児童生徒とともに積極的に行われています。</p>
教育長	<p>パソコンやタブレットを使って学習しましょうといった指示のもとで動いてるような気がしています。使いたければ使えばよいし、使いたくなければそれでもよい。そういった一つのツールになればいいと考えております。</p> <p>実際は、実践の中で使用している方がいらっしゃいます。研究授業で結構実績があります。それをどう広げていくかという課題があると思います。ロイロノートはよいツールだと思います。非常に使いやすいので、今後期待をしています。</p> <p>ボランティアのことでICTのことは、一つの課題という形で、またこれからも取り組んでいきたいと考えております。</p>
教育長	<p>話を聞く時かぎりでは、たくさんの子がボランティア活動をやりたいと思ってる</p>

羽田野委員	<p>という話はよく聞くのですけどね。</p> <p>町民運動会のボランティアは、思ったように集まらなかったと聞いています。</p>
学校教育課長	<p>21、22、23ページをご覧ください。前回の時に採択させていただいたものを岐阜地区の採択委員会に報告させていただきました。</p> <p>岐阜市を除くすべての市町で同じものを同様に採択されましたので、これを、承認いたしました。8月31日まで非公開でしたので、9月1日以降は、羽島郡二町教育委員会のホームページで公開しております。</p> <p>教科書の見本については、各両町の図書館・図書室・教育長室等で見られるように準備しております。ありがとうございました。</p>
教育長	<p>これは報告という形ですね。では、続いて協議題に入ります。</p>
総務課長	<p>日程第12・協議題の1番「令和5年度第52回羽島郡二町教育委員会被表彰者について」会議資料の26ページをご覧ください。</p> <p>羽島郡二町教育委員会の表彰というのは、表彰規則及び表彰規則取扱要領に基づきまして、羽島郡の教育学問及び文化の振興発展に貢献した方を表彰することを目的としております。</p> <p>表彰基準としまして、教育関係表彰職員表彰は第2条に、学校、団体その他の表彰は第3条に規定されております。</p> <p>今年度も両町の小中学校及び教育関係機関に照会をさせていただきました結果、7名の方の推薦がございました。26ページに載ってみえる7名の方でございませう。</p> <p>学校教育関係の方につきましては、第2条を第3号に掲げる20年以上の委員会事務局及び委員会の所管に属する学校又は教育機関に勤務して成績優秀な者に該当された方が6名。社会教育関係につきましては規則第3条第1項に掲げる学校教育、社会教育及び保健体育の振興発展に貢献して、その功績が顕著なものとして、取り扱い要綱第10条の1号の社会教育関係委員として15年以上尽力し、社会教育の振興発展に貢献した者として該当される方が1名です。</p>
教育長	<p>以上7名、今年度、表彰の対象という形で進めたいと思っておりますがよろしかったでしょうか。</p>

岩井委員	表彰はいつ頃ですか。
総務課長	11月に予定しております。
教育長	<p>この7名ということでよろしかったでしょうか。表彰式の開催にあたっては、ご足労かけますけれど、よろしく願いいたします。</p> <p>続いて小学校教育功労者表彰について学校教育課長より説明をお願いします。</p>
学校教育課長	<p>27、28ページでございます。全国の小学校教育功労者の表彰ということで、教育制度75周年記念で25年に1度開催されるものでございます。表彰は東京で行われます。岐阜県からは8名ほどが選ばれます。なかなか厳しいものではありましたが、28ページにあります、羽島郡で勤められた高木敏彦先生が選ばれました。前の笠松小学校の校長先生で、歴史資料館館長でございます。申請させていただいたところ、7月25日に内定が出ましたので、先生にお越しいただいて、受賞の意思の確認をしたところ、快く参加していただけるということでしたので、羽島郡・岐阜県を代表して、受賞していただくことになりました。</p> <p>高木先生は小学校を中心に勤務され、歴史資料館、県の歴史資料館の初代館長を務められた方でもあります。そういったことも加味されての受賞になります。</p>
教育長	ご承知おきください。では続いて、(3)から(6)までをお願いします。
社会教育課長	<p>協議題3 羽島郡人権教育研修会についてご報告します。29ページをご覧ください。</p> <p>参加人数のまとめとなっております。225名の方に参加いただきました。このように大規模で開催するのは4年ぶりということになります。教育委員の皆様にもご参加いただき、ありがとうございました。</p> <p>30、31ページは、参加者の感想から代表的なものを抽出したものです。正しく知るということの大切さを改めて感じさせられた研修でした。</p> <p>続きまして協議題4 夏休み子ども向け講座の参加状況でございます。32ページをご覧ください。</p> <p>今回、岐南町・笠松町合わせて、子供が458人参加しております。昨年度は300人でしたので、前年度の1.5倍の子どもたちが、参加をしています。夏休みを生かして、地域の人材・地域の企業や高校の協力を得て、多くの子どもたちが、楽しい体験ができました。</p>

	<p>続きまして、羽島郡地域学校協働活動研修会についてご報告いたします。33ページが研修会のまとめとなっております。</p> <p>34ページと35ページが、参加者の感想となっております。この事業は岐阜県と岐阜大学が共同で運営する地域学校協働活動センターによる、地域学校協働活動支援プログラムを利用して実施しています。36ページは、まだホームページにアップされておきませんが、岐阜大学のホームページの方に掲載される予定です。この研修会を受けて、その後、9月5日に東小学校学校運営協議会を開催し、熟議を早速実施しております。また、先ほど教育長から紹介のあった「つなぐ教室」実行委員のメンバーもこの日の研修会に参加しており、地域の繋がりを強めるということで、当事者意識を持って自分たちでやっという意識を高め、張り切っております。</p> <p>また、東小学校学校運営協議会には、西小学校の関係者の方も参加をしており、西小学校でも今度の150周年の植樹にあわせて学校運営協議会を計画しております。地域での活動をこれからやっという動きが出てきています。</p> <p>続きまして「キッズウィーク」について、37ページをご覧ください。10月7日から15日まで、「キッズウィーク」を行います。</p> <p>公民館を中心に計画している事業の一覧です。また、別冊で皆様方にもカラーのチラシを配布しております。1枚目は、厚生労働省から支援をしていただいて、作成したチラシとなっております。羽島郡健康ウォークもこの期間に実施する予定です。また、それぞれ地域の動きということで、岐南町では青少年育成推進員を中心に小学生交流ドッジボール大会、笠松町ではミニ笠横丁、岐阜工業高校とタイアップした「かさまつり」なども計画をしております。以上でございます。</p>
教育長	<p>何かご質問等ございましたらお願いします。また何かありましたら、聞いていただければいいかなと思います。</p> <p>では次回、第8回の確認ですね。</p>
総務課長	<p>協議題の(7)(8)でございます。こちらは、前回に予定を確認させていただいたものでございます。10月23日の午前10時から第8回教育委員会定例会、午後1時30分から令和5年第1回羽島郡二町教育委員会運営協議会を予定しております。</p> <p>案内文書は、後日送付させていただきますが、案内文書に書いてある議案については今後増える予定もありますので、ご承知おきくださるようお願いいたします。</p>

教育長	<p>前回、確認させていただいております。よろしかったでしょうか。</p> <p>では、続いて最後の協議題です。</p>
総務課長	<p>その他について、38ページをご覧ください。</p> <p>一つ目に「教育委員徒然日記」です。岐阜県市町村教育委員会連合会から、県内の教育委員の方が輪番で、日頃感じていることをホームページに掲載するものになります。原稿用紙1・2枚、400字～800字程度で、教育委員さん間の交流を図ることを目的としております。40ページに今までの掲載の実績がございます。</p> <p>羽島郡二町教育委員会は、令和4年4月の第2回目に、41ページにありますように、岩井教育委員さんに「古文書の学びから」という投稿をしていただいております。今回につきましてもお忙しいところ申し訳ないんですが、どなたか1名の方に依頼できないかと考えております。</p>
久納委員	<p>今回は私が投稿します。</p>
教育長	<p>ありがとうございます。久納委員さん、よろしく申し上げます。</p>
総務課長	<p>詳細については、お尋ねください。</p> <p>最後に、11月に予定しております、第9回教育委員会定例会議 および 羽島郡二町教育委員会表彰式についての日程調整を議題とします。42、43ページをご覧ください。</p> <p>今日現在で、ご都合の悪い日をお願いします。</p> <p>(各委員確認)</p>
教育長	<p>それでは、11月28日火曜日の1時30分からを予定(仮)させていただきます。よろしく願いいたします。</p>
教育長	<p>以上で、すべての議題は終わりました。それでは、第7回教育委員会定例会を閉じさせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>(午前11時55分 開会)</p>